

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、新型コロナウイルスに対する抗体を調べる検査として、下記項目の、検査受託を開始いたします。

何卒、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

## 新規受託項目

### ● 4432 SARS-COV2 抗体定量

項目コード	検査項目名	内容	備考	
4432	SARS-COV2 抗体定量	検体量	血清 0.5 mL	SARS-COV2 スパイク 蛋白質の受容体結合 ドメイン(RBD)に対す る抗体(IgG と IgM)を 測定する定量検査。 IgG と IgM の区別はで きません。
		容器	容器番号 : 01	
		保存方法	冷蔵	
		所要日数	2 ~ 5 日	
		検査方法	ECLIA	
		基準値	陰性 0.80 U/mL 未満	
		報告下限	0.40 U/mL 未満	
		報告上限	250 U/mL 以上	
		検査実施料	未収載	

※研究用試薬を用いるため、保険適用外となります。

※IgG と IgM を総合的に検査を行うため、それぞれの区別はできません。

## 受託開始日

●令和 3 年 3 月 1 日 (月)

# SARS-COV2 スパイク蛋白抗体

**スパイクタンパクは中和抗体の共通ターゲット。  
治療やワクチンデザインもスパイクタンパクにフォーカスしています。**

SARS-CoV-2 の表面にあるスパイク蛋白質は大型の膜貫通型糖蛋白質で、S1 と S2 の 2 つのサブユニットからなる三量体蛋白です。

S1 は受容体結合ドメイン (RBD) を有し、アンジオテンシン変換酵素 2 (ACE2) 宿主細胞受容体を特異的に認識します。S2 は膜融合ドメインを有します。

本試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 S RUO は、ヒト血清中の SARS-CoV-2 (重症急性呼吸器症候群コロナウイルス 2) のスパイク蛋白質の受容体結合ドメイン (RBD) に対する抗体を「**定量的に測定する研究用試薬**」です。

次の用途を想定されています。

1) 免疫力獲得の推定

医療従事者など高リスク群へのスクリーニング、職場復帰の目途など。

2) ワクチン誘発免疫反応の評価

ワクチン評価試験、ワクチンに対する免疫応答の定量測定、ワクチン接種前の免疫状態の確認など。

弊社で使用するロシュ・ダイアグノスティックス株式会社の研究用試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 S RUO は、モデルナ社のワクチン試験に参加しており、予防に関する相関関係を評価するのに役立てられています。

また、現在製造されているワクチンの多くは、スパイク蛋白質に対する抗体反応を誘発する事を目的としています。